



ライオンズクラブさんから新しい本をいただきました

ライオンズクラブさんから図書券をいただき、新しい本を購入しました。2回に分けて紹介します。

まずは、前期図書委員会のメンバーが新刊紹介をしますので、参考にしてください。

『モヤモヤそうだんクリニック』(池谷 裕二：NHK出版)

日ごろ生活する中で、心がモヤモヤすること、不思議だなと思うこと、また、納得がいかないと感じることなどがたくさんあると思います。その問題を東京大学で脳のしくみを研究している池谷裕二先生がみなさんの問題を解決するためのヒントをくれる本です。たとえば「頭がよくなる薬はありますか？」という質問に池谷先生は「頭がよくなる薬はあります。

これからも研究されていくでしょう。でも、科学の進歩によって変化する未来を想像し、新たな可能性や問題の解決方法を見つけていく。それができる人こそ、最高に頭がいい人」だと、ぼくは思っています。」

というように、一つの質問にくわしく説明してくれている本です。

興味がある人は、ぜひ、『モヤモヤそうだんクリニック』を読んでみてください。 6年図書委員 小柴



『大人も知らない！？スポーツの実は…』(白幡 和也監修：文響社)

この本は、みんなが知らないスポーツの本当のことが書かれています。

例えば、卓球の試合で、タオルで汗をふけるのは点数の合計が6の倍数の時だけだとか。知っていましたか？僕は知らなかったので、「へえ〜」って思いました。卓球の試合を見る時は気にしてみようかなと思いました。

他にもいろいろ興味あることが記されています。このようなことを知ると、

スポーツがすごく楽しくなります。ぜひ、読んでみてください。 6年図書委員長 高柳



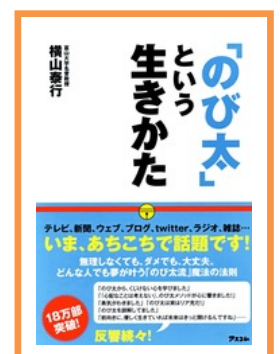
「のび太」という生きかた(横山泰行：アスコム)

この本は、「ドラえもん」に出てくるのび太を見習う本です。

のび太は、失敗ばかりしていますが、のび太はしっかり成長しています。のび太は人に頼っているだけではないのです。のび太は、人を思いやりする心や未来を信じる気持ちがある優しい男の子です。

のび太あきらめが悪く、失敗してもあきらめません。こういうところをぼくは見習ってみたいなと思いました。ぜひ、読んでみてください。

(作者は、富山大学の先生です。ドラえもんを研究しています。) 6年図書委員会 矢島



「災害で消えた小さな命」 (うさ：毎日新聞出版)

この本は、東日本大震災で消えてしまった小さな命がメインの本です。

東日本大震災での「人命優先」、この言葉で消えてしまった小さな命。東日本大震災で消えてしまった命は人だけではなく、犬、ねこ、うさぎ、魚、いろいろな命が消えてしまったということを知っていただく本です。

この本は、最初にペットに向けてのお手紙があります。私は最初で泣きそうになりました。波で流されてしまった小さな命、気温の変化でなくなってしまった小さな命、いろいろなことが詰まっている本です。そして、ときどきその災害でなくなった動物のイラストが描いてあります。なぜかその絵を見ると胸がギュッと痛みます。救えたはずの命、体が大きいからという理由で消えてしまった命。私はこの本を読んで「どんな理由があっても命は命、大切な命」だと思いました。 5年図書委員 青木



「ドリトル先生」 (ロフティング：ポプラ社)

この本は、ドリトル先生という男の人と動物たちをえがいた物語です。

ドリトル先生は、動物と話せる学者です。そして、動物の病を治す医者になります。ある日、ツバメが飛んできてアフリカでサルたちが病気になったことを伝えます。そして、船を借りて海に出ました。それから、いろいろなトラブルが起きますがドリトル先生たちはあきらめません。その後どうなったのかは読んで確認してみてください。

自分も読みながら、冒険しているみたいな気持ちになったので、ぜひ読んでみてください。

5年図書委員 新井



「move はじめてのずかん どうぶつ」 (講談社)

この本は、どうぶつが好きな人におすすめです。ねこや犬がのっています。ねこや犬がとってもかわいいので、ぜひみてください。いろいろなどうぶつものっています。けっこうな数のどうぶつの種類があります。やはり、ライオンやチーターは、足が速い!! この本は、ページ数が多いので、最初から最後まで楽しめると思います。この本は1～3年生くらいの人におすすめです。

ぜひ、読んでみてください。

5年図書委員 高井



「空色トパーズとあたらしい友だち」 (あんびるやすこ：講談社)

ムーンヒルズの魔法宝石店で働くパールのもとにお客様がやってきました。とても仲良しの女性二人ですが、数日後にお別れしないとならないそうです。そこで、友情を忘れないように「フレンドシップ・ジュエリー」を作ってもらいたいとの依頼です。しかし、まだ新米のパールはどんなアクセサリーを作ればよいかわからなくて…。

はたしてパールはどんなアクセサリーを作のでしょうか。二人の友情にピッタリな宝石とは何なのか。ぜひ読んで確かめてください。 4年図書委員 大野

(あんびる先生は、前橋市出身です。)



「なつみはなんにでもなれる」 (ヨシタケシンスケ：PHP研究所)

この本は、いろいろなことをまねしたい人におすすめです。

主人公のなつみがサンタのまねをしたり、食べ物のおムライスのまねをしたりして、お母さんに楽しく問題を出して遊びます。

あと、からあげをいっぱい食べたい気持ちと、歯医者さんに行きたくない気持ちとか、まねをするんじゃなくて気持ちだから、表すのがたいへんだけど、そういうところもおもしろいと思います。

表しにくいものもあるけれど、かんたんなものも交じっているから楽しいと思います。

みなさん、おもしろいのでぜひ読んでみてください。

4年図書委員 秋山

(ヨシタケシンスケさんの本は、他にも入りましたよ。)



「かいけつゾロリのレッドダイヤをさがせ」 (原 ゆたか：ポプラ社)

この本は、レッドダイヤがぬすまれるという内容です。あやしい人たちがいっぱいいてはんにんだれかわからないけれど、最後はびっくりする結末になります。

本の最後に「ノミのサーカス」の絵がおもしろかったです。

あとは、みなさんが借りて読んでみてください。

おもしろいですよ。

4年図書委員 山口



「ほねほねザウルス ふっかつ! でんせつのファイヤーティラノ」

(ぐるーぷ・アンモナイト：岩崎書店)

ぼくは、「ほねほねザウルス ふっかつ! でんせつのファイヤーティラノ」を読んで、友だちはやっぱ大切なんだなと思いました。

主な登場人物は、ティラノサウルスのベビー、ステゴザウルスのゴンちゃん、トリケラトプスのトップスです。

この話は、ほねほねアーチャーのロビン・ジュニアとほねほねサムライのホネ太郎とほねほねバイキングのビットが出てきて、ファイヤーティラノを探す物語です。

前編と後編に分かれています。前編も後編も読んでみてください。

4年図書委員 新井



*10月1日(木)お昼休み貸し出しスタートします。

*裏面に、すべての書名一覧を付けてあります。また、職員室前の廊下に新刊紹介コーナーもあります。